

はじめに

「緑の分権改革」推進事業の更なる実践に向けて

ニセコ町は、北海道の西部、後志管内のほぼ中央に位置し、東に国立公園羊蹄山(1,898m)、北に国立公園ニセコアンヌプリ(1,309m)の山岳に囲まれた波状傾斜の多い丘陵盆地を形成しています。町の中央には清流日本一に選ばれている尻別川が流れ、これにルベシベ川、真狩川などの中小河川が流入し、豊かな水環境に恵まれています。また、内陸的気候を呈し、平均気温は摂氏6.3度で、冬期の最深積雪は、市街地でも200cmにも達することもあります。

この豊かな自然を背景に、ニセコ町には豊富な地域資源が存在しておりますが、実際に活用されているのはほんの僅かで、特に、水力、間伐材等の森林資源や雪氷、温泉水などのクリーンエネルギーは、大きな利活用の可能性を秘めています。

そこで、今年度、ニセコ町におけるエネルギーの自給率を向上させるとともに、地産地消・資源循環型社会の構築を目指し、総務省の委託事業である「緑の分権改革」推進事業の導入によるクリーンエネルギー資源の賦存量等の調査及びクリーンエネルギー活用の具体的な事業展開を目指しての実証調査などを実施しました。

今後は、この成果を活かし、地域資源を最大限活用する仕組みを住民のみなさまとともに創り上げ、「地域の自給力と創富力(富を生み出す力)を高める地域主権型社会」の構築を目指してまいります。

終わりに、本事業の実施にあたり精力的にご指導を賜りました長野克則先生、大津晶先生をはじめ、緑の分権推進委員のみなさま並びにご支援いただいた関係各位に心より感謝を申し上げます。

平成23年2月

北海道ニセコ町長 片山健也